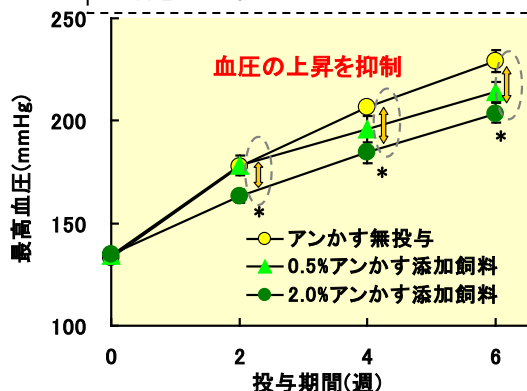




小豆で健康に！小豆ポリフェノールの効果

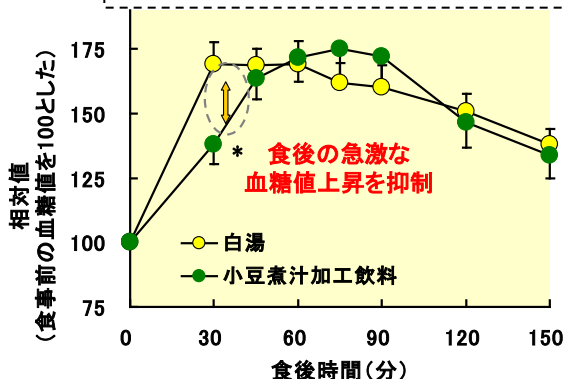
製アン副産物(アンカス)による動物実験
脳卒中のモデルラットにアンカス添加飼料を6週間投与



小豆種皮においても血圧上昇抑制効果が確認され、血中の酸化ストレスの軽減などが関与していることがわかりました。

小豆煮汁加工飲料によるヒト介入試験

50～60歳代の女性13名が食事の前に小豆煮汁加工飲料50mL(330mgポリフェノールを含む)または白湯50mLを摂取



食事の前に小豆煮汁加工飲料を飲むことによって、食後30分以内の急激な血糖値の上昇を抑える傾向が見られました。

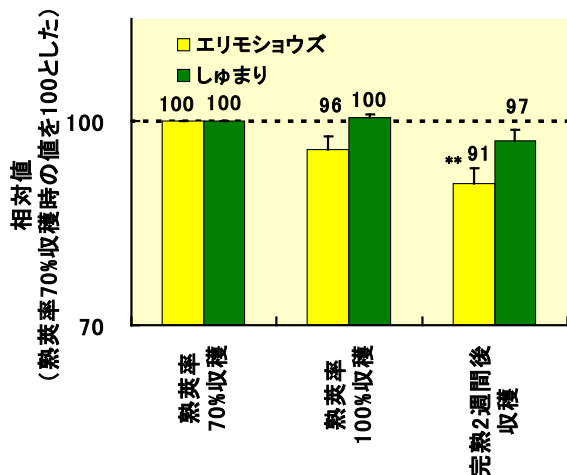


<これまでに明らかとなった小豆の生理調節機能>

試料	投与期間	項目	効果
動物実験	小豆エタノール抽出物	長期 中性脂肪値	上昇抑制効果
		最高血圧	上昇抑制および降圧効果
	一過的	悪玉コレステロール値	上昇抑制効果
		血糖値	上昇抑制効果
ヒト介入試験	アンカス、小豆種皮	長期 最高血圧	上昇抑制効果
		中性脂肪値	高めな人は低下傾向
	一過的	悪玉コレステロール値	低下傾向
		血糖値	上昇抑制傾向

小豆ポリフェノール含量の変動

収穫時の熟英率の違いがポリフェノール含量に及ぼす影響について検討



収穫時期が遅れるほど小豆のポリフェノール含量は低下する傾向が認められました。



道立中央農試・基盤研究部・農産品質科
夕張郡 長沼町 東6線 北15番地
0123-89-2585
seika@agri.pref.hokkaido.jp

(この研究成果は、中央農試 農産品質科、十勝農試 小豆菜豆科、青森県立保健大学大学院、帯広畜産大学との共同研究により得られた成果である)